

Go-Ahead

<http://toyono-jinjikyō.com/>

3

平成 29 年度 (2017 年度)
子ども主体の授業づくり②

—授業評価と授業改善—

@大阪教育大学附属池田小・中学校

☆初任者と中堅教諭による合同研修☆

小中学校併せて 250 名の中堅教諭と初任者との合同研修を行いました。中堅の先生には司会進行を始め、児童役として授業を受けていただきました。また、研究協議では初任者への丁寧なアドバイスや助言が盛んに行われ、先生による主体的な学び合いが出来ました。

☆模擬授業を受けて～研究協議☆ 中学校編

『めあて』とその評価基準をハッキリ持ち、児童にも伝えることが大切だと感じました。また、『評価がしやすい』＝『身に付ける力、技能』がわかりやすいということだと考えました。(国語)

新しいことにもっといろいろ挑戦しないといけないな・・・と思った。(国語)

何を指して1時間を組み立てるのか、そこからしっかり取り組もうと思います。後半の授業では”考察”の評価の仕方について考えさせられました。小中高の繋がりについては大きな課題だと前々から感じていましたので、とても興味深く聴かせていただきました。『3』の法則などを意識して活用していきたいと思います。(理科)

講義形式の授業で先生のしゃべりが多いと子どもにとってしんどさを感じてしまうこともわかりました。それに気づけたことはよかったです。(理科)

模擬授業を受けてみて、やはり教師主体の授業が多いと感じました。いかに子どもたちが知りたいと思う発問を考えるのが大切だと思います。教材研究は小学校との違いもあるので小中の交流がいかに大切か感じました。(社会)

発問の仕方の大切さを改めて確認しました。アクティブラーニングありきではなく、どの場面で取り入れるのかはよく考えていかないといけないと感じました。(数学)

自分自身の改善すべき点、これから取り入れていきたいことなどを学ぶことができた。(保健体育)

普段校内で一人教科のためなかなか知り得ないことや気づきがたくさんありました。(美術)

先生方の発問の仕方によって興味が深まったりすることが実感できました。題材の提示の仕方、発問の仕方はワンパターンになりがちな自分の授業にも活かしていきたいと思いました。(家庭科)

☆研修全体について☆

導入や展開の前段階だけでは授業の評価がしにくかったので、模擬授業はメインの部分の20分に限定した方がよい。(国語)

1人くらいは中堅教諭が授業をしてもよいと思う。(保健体育)

今日のような研修がまたあればいいと思いました。(美術)

模擬授業は小学校と中学校では時間差があったものの、全般的に司会の先生によってスムーズに進められました。小学校では班分けが所属学年と違う場合が多くありましたが、各学年に応じた学習の方法を、段階に応じて助言をしていただきました。中堅の先生自身も考え、気付くところがたくさんあり、充実した一日になりました。

☆模擬授業を受けて～研究協議☆ 小学校編

子どもに知りたい、学びたいと興味をわかせるにはかなりの準備、アイデア、授業力が必要だということ、授業中の子どもたちの様子を見て立ち止まったり発問を変えたりする余裕を持つておくべきだということがわかりました。(専科)

もし自分が授業をするとしたら、と考えながら一緒に授業が研究できたかなと思います。(支援担)

発問の仕方や意図について真剣に考える機会になった。何をさせたいのか、何を身に付けたいのかということをもとに明確にしておくことでブレが生じにくいと思った。(支援担)

校内でも初任者の方と一緒に教材研究や学級経営など相談しながら進めていきたいです。(支援担)

1人で考えるよりみんなで考え作っていく大切さも思いました。よく『チームで』動くことを最近耳にします。小学校は特に担任1人で決めて動くことが多いので学年間、学校間の連携や今日のような市を超えた先生同士の交流が日々の授業や指導を豊かにしてくれるのだと思いました。(支援担)

自分の考え方を客観視できたり、他の方の意見も聞けたりして勉強になりました。こんなことを学校内で和気あいあいとできたら若い子も中堅ものびてゆくと思いました。初任者の先生に感謝です。初任者はいっぱい質問したいのでは？と思ったので、グループ協議ではなく個別に聞くなど、聞きやすい雰囲気を作ればよかったですね。(支援担)

模擬授業を見せていただき、改めて自分の授業の改善点も見直す機会となりました。関心と疑問を持たせる工夫については、もっと算数を楽しめる努力を続けなくてはならないと思いました。一人一人への配慮を忘れない姿勢も、他校の先生から受け取られました。(高学年)

指導案、模擬授業、どちらもよく考えられていました。自分の言葉で説明する力を育てる必要性を再確認しました。そのためには教師側も意図的に場を作っていく必要があることを感じました。(低学年)

☆午後の模擬授業を受けて☆

子どもたちが自ら考えやってみる活動を実際やってみて、なるべく毎時間取り入れることで主体的な学びにつながるということがわかりました。(1年算数)

音楽では身体活動や自分で歌詞などを考える行動など考える行動が様々な視点からの取り組みが、子どもの成長、学びに培われるのだと勉強になりました。『子供中心』に考えることが原点だと思い出させてもらいました。(2年音楽)

振り返りの書かせ方は、自分自身の課題でもあったので、大変勉強になりました。午後の模擬授業では時間配分も考え授業に盛り込むところとそうでないところが明確でした。(5年算数)

日付を書くところから学習に入っていて、子どもたちがはじめから引き付けられ、板書もすべて授業内容の順番とつながっていて、驚きの連続でした。(3年算数)

連絡事項

- ☆ 本日説明の研修成果のまとめ(レポート作成)の様式については、後日送付いたします。
- ☆ 市町教育委員会への提出期限は平成 30(2018)年 1 月 31 日です。